

## 報告

### 平成十二年度大会の概況

日本思想史学会平成十二年度大会は、十月二十一日(土)・二十二日(日)の両日、東北大学大学院を会場として開催された。

第一日目の研究発表・パネルセッションの発表者と発表題目は以下のとおりである(副題省略)。

#### 〈第一会場〉

##### 研究発表

- 1、鎌倉期禅僧の浄土観  
(東北大学大学院 東海林良昌)
  - 2、明恵の密教思想  
(日本学術振興会 前川 健一)
  - 3、『平家物語』における運命観の変容  
(東北大学大学院 岩井 千恵)
  - 4、東北における時衆の受容  
(国府台女子学院 古賀 克彦)
  - 5、心を付けて感ずべし  
(学習院大学 田村 航)
- パネルセッション 『麗気記』にみる中世——神道思想研究の新たな視座を求めて』  
(大正大学 三橋 正)

- 1、『麗気記』世界の生成  
(いわき明星大学 門屋 温)
- 2、『麗気記』の凶像学  
(早稲田大学 原 克昭)
- 3、『麗気記』と〈註釈〉  
(宗教情報リサーチセンター研究員 森 瑞枝)
- 4、埋没する『麗気記』世界

#### 〈第二会場〉

研究発表

- 1、李朝後期知識人の他者像
- 2、儒医について
- 3、熊沢蕃山の『周易』解釈における独自性
- 4、熊沢蕃山の天皇観
- 5、荀子と徂徠学
- 6、賀茂真淵における自然観と政治思想
- 7、本多利明の「他者」認識
- 8、頼山陽における経学と史学
- 9、吉田松陰と後期水戸学の距離
- 10、元三大師御籤注解考
- 11、武士をめぐる語りと「武士道」

〈第二会場〉

研究発表

- 1、西田哲学に見る宋学的伝統
- 2、「内村鑑三不敬事件」再考
- 3、志賀重昂の儒教主義教育批判
- 4、三宅雪嶺における「個」の問題
- 5、初期政教社にみる帝国日本の意識
- 6、茅原華山の西洋経験
- 7、竹越与三郎における「自治」と「人民」
- 8、世紀転換期日本の思想

(広島大学大学院) 金 仙熙

(久留米大学大学院) 吉田 洋一

閻 茜

(東北大学大学院) 大川 真

(東京大学大学院) 韓 東育

(宮城教育大学) 本郷 隆盛

(中央大学大学院) 宮田 純

(東北大学大学院) 玉田 典子

(東北大学大学院) 桐原 健真

(愛知県立大学) 大野 出

(愛知県立大学) 樋口 浩造

(関西大学) 井上 克人

(宮城学院高等学校) 今高 義也

(ポンド大学) ギャビン・まさこ

(同志社大学) 長妻三佐雄

(大阪大学大学院) 水野 守

(筑波大学大学院) 水谷 悟

(筑波大学大学院) 大村 章仁

(神戸大学) 宇野田尚哉

9、植民地主義と「学知」

(愛知教育大学) 松田 京子

10、保田與重郎の「転向」

(愛知教育大学) 渡辺 和靖

11、戦後の日本思想史研究の前提

(岩手大学名誉教授) 藤原 暹

第一日目の研究発表・パネルセッションの終了後、総会が行われ、評議員会より平成十一年度事業報告および決算報告がなされ、それぞれ承認された。続いて平成十二年度事業計画および予算案が提出され、それぞれ評議員会案通り決定された。

引き続き、仙台第一ワシントンホテルにて懇親会が開催された。

第二日目は、「東アジアの儒教——二十一世紀の思想史研究」のテーマでシンポジウムが行われた。

司会

(恵泉女学園大学) 澤井 啓一  
(山形県立米沢女子短期大学) 荻生 茂博

開会宣言・趣旨説明

報告

中国における宋明理学研究の方法、視点とその趨向

(北京大学) 陳 来

韓国社会と儒教

(翰林大学校) 池 明観

二十一世紀における新儒教研究

(東洋大学) 吉田 公平

「武国」日本のなかでの朱子学の役割

(愛知教育大学) 前田 勉

討論

まとめと閉会宣言